

2011—2012 ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー第2510地区  
2011～2012年度 ガバナー 熊澤隆樹

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F  
TEL (011)207-2510 FAX (011)207-2512  
e-mail : rid2510@nifty.com



## 2011-2012年度国際ロータリーテーマ

# 「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

Reach Within to Embrace Humanity



## 国際ロータリー第2510地区2011-2012年度 地区目標

- I ロータリーの活動を担う新しい会員を増やすこと
- II クラブは(全会員参加型の)新しい奉仕活動を年度内に一つ行うこと
- III まわりの人にロータリーを巧みに語り伝えること

## CONTENTS | 目次

ガバナーメッセージ .....	1
2012年 国際協議会に参加して .....	2
第5回全国RYLA研究会に参加して .....	3
第9グループIM開催にあたり .....	4
第12グループ・インターシティ・ミーティング報告 .....	5
新会員のご紹介/訃報 .....	6
2011-12年度各賞の申請について .....	7
米山寄付、ロータリー財団寄付/文庫通信 .....	8
地区カレンダー (3月・4月) .....	9
出席率・会員数 .....	10



## 『99.8%識字率の日本では識字率向上のために何ができるか?』 -識字率向上月間にあたり-

国際ロータリー第2510地区

2011-2012年度 ガバナー **熊澤隆樹** (小樽RC)

皆様、任期も残り少しになりましたが、いかがお過ごしでしょうか？私も公式訪問は終わりましたが、2月からIM（インターシティ・ミーティング）・周年行事が目白押しで、忙しい日々が続いております。貴クラブでも地区目標に向けて日々努力していただけていると存じます。近々の問題として、大震災救援奉仕プロジェクトとして年度当初、佐々木、熊澤、細川年度と継続的な事業の位置づけをしまいいりましたが、今一度ご確認をして、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、私は日頃、人間が人間たるのには教育が大切であるとするものの一人です。ですから、小・中・高・大学の恩師、特に大学院での指導教授、そして父の教えを大切に、今日ここに辿り着いた感があります。そして、その思いが人一倍強いものがありました。

よく「企業は人なり」と言っており、優良な企業になるには人材教育が大切であることはこれまで色々な所で話されてきております。

明治維新から始まった日本の近代国家にとっても、江戸時代まで続いてきた寺子屋にみられる教育は、誠に大なるものであったことは衆目の認めるところであります。昨年10月の小樽で行われた当地区大会での記念講演者、藤原正彦氏はその日本の昔の教育のすぐれたことにもふれられており、江戸時代の初めに識字率が50%であり、男性で70%、女性で30%で世界一であったそうです。

今日の教育の問題点については、私も13年間の専門学校（歯科衛生士）と北海道大学（歯学部）の30年に近い非常勤講師として色々強く感じるものがありました。そこに「読み、書き、そろばん」という基礎教育の大切さにふれられた藤原氏の提言はまさに的を得たものと感じており、この度の記念講演をご依頼した大きな理由でもありました。

ロータリーでも「未来の夢計画」の新補助金体制における6つの重点分野に**基礎教育と識字率の向上**があります。これは識字と「世界の貧困と経済格差」との関係において貧困こそ諸悪の根源と言われていて、非識字と貧困は悪循環することは広く認められており、武力紛争や社会不安に潜む諸悪の根源が「世界の貧困と経済格差」にあると重田政信元RI理事も述べております。田中 毅PDGは『世界では自分の国の言葉による「読み、書き、そろばん」ができない、非識字者は世界で8億人、そのうち3分の2は女性で4分の3の人々は発展途上国に住んでおり、ロータリーの識字率向上活動として、Concentrated Language Encounter (CLE) と呼ばれている語学力集中研修、その他、一般的教育支援プログラムとして、学校建設事業、教育資材寄贈、図書寄贈、教員養成などのプロジェクトがあります。99.8%という世界最高の識字率を誇る日本でも識字能力が不十分な在日外国人や外国人労働者やその家族がいることを忘れてはなりません。さらにインターネットやメールができない情報非識字の問題もあります。こう考えると、日本における識字教育の必要性も無視できない』と述べております。これからTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）が行われると外国人労働者への日本語教育の必要性が益々増えていくことが予想されます。

国際ロータリーの戦略計画（旧長期計画）の三本柱の「人道的奉仕の重点化と増加」での**基礎教育と識字率の向上**では発展途上国にとって平和の確立のために最も重要ともいえる奉仕プロジェクトであり、これからのロータリー財団の役割が非常に我々会員にとっても重要になり、そのためによく検討を加えながら、大いに利用しなければならないと思われまます。

未来の夢計画に期待を込めて！





## 2012年 国際協議会に参加して

国際ロータリー第2510地区

ガバナー・エレクト **細川 好弘**  
(静内RC)

日本を代表する花、桜をモチーフにデザインされた、まさにサクラ尽くしの研修資料を手に2012年国際協議会が1月15日から21日までカリフォルニア州サンディエゴ市マンチェスター・グランドハイアット・サンディエゴホテルにて行われました。

200以上の国と地域から532地区のガバナー・エレクトと配偶者、RI関係者、研修リーダー（日本からは3名）SAAを含めると1,300人を超える参加者でありました。

元来 気候の良いところで、アメリカでも住みやすい地域と言われているだけに快適な毎日でしたが、例年のごとく研修の方は朝から晩まで組まれたタイムスケジュールは厳格の中にも交流の場も加わって有意義に終える事が出来ました。

「ロータリーに入るまで、私の人生観はとても狭いものでした。」とお話する田中作次RI会長エレクトの講演で、2012-13年度のRIテーマは「奉仕を通じて平和を」築いていく決意をロータリアンに呼びかけました。

「平和」とは何なのか、というより「平和」ではない状態がどのようなものを語り、戦争や暴力や恐れることのない状態、安全で安心できる未来を意味し、安定した社会での人生と家庭を意味すると力説され、会場に溢れる拍手が響きわたりました。

「一人ひとりがどんな些細なことでも、人を助けることがいずれば平和につながる」ともお話しておりますように、自分の心、家族、地域、そして世界中に平和の恩恵が届くことを見届けることが出来る崇高なテーマであります。

田中作次RI会長エレクトが描いたこのデッサンをもとに、着色をし、名画として仕上げて行く為の奉仕活動に皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

尚、心に残るロータリー体験スピーチ、討論会や国際祭りの夕べでは、夫人共々「花笠音頭」を踊り、華やかな舞台を展開するなど幅広いプログラムを楽しむことができました。

最終日、友好地区大韓民国第3700地区 呂成源ガバナー・エレクト夫妻と再会を誓い、無事帰国の途につきました。



テーマを発表する田中作次RI会長エレクト



ジョン・ヒューコ  
RI事務総長夫妻と



第3700地区 呂成源  
ガバナー・エレクト夫妻と



## 第5回全国RYLA研究会に参加して

2012年2月5日(日) グランドプリンスホテル新高輪 朝10時より16時30分まで

地区新世代委員会

委員長 柳 孝一

(札幌南RC)

当地区でのRYLAは2005-2006年度から実施されていませんでした。

ロータリーの四大奉仕に新世代が加わり五大奉仕になった今年度、地区大会に合わせ、熊澤ガバナーの指導を受けRYLAの様な1泊のキャンプをインターアクト・ローターアクト・青少年交換学生を中心に約50名を集まり、開催しました。次年度に繋ぐ、予行のようなものでしたが、参加者には大変好評で地区大会実行委員会の皆様には深く感謝しております。

さて今回、細川ガバナー・エレクトから要請を受け、全国RYLA研究会に出席してまいりました。今年で5回目でしたが、私の知る限り当地区からは初めての参加だったかも知れません。研究会は全国のRYLAや新世代に関わるロータリアンが約130名集まり開催されました。私は次年度7年ぶりのRYLA開催に向け、RYLA委員会を新設、準備に入ったこの時期の研究会ということもあり、いつになく真剣に耳を傾け、メモを取り、質問をし、身のある時間を過ごしました。



とかく新世代に関わるロータリアンは、熱い特性があります。RYLAに関わるロータリアンもご多分に漏れず、新世代の中心はRYLAだというロータリアンが多く、「やはり」という印象でした。

会は片倉ガバナー会議長のご挨拶からはじまり、「RYLAとリーダーシップ」の題で南園義一元RI理事の基調講演が行われ、「ロータリーは供に心を共有する新世代型にはまらないよう、ロータリアンと新世代が将来どうあるべきかを話し合う事が必要である。」ことを話されました。

次に基調講演の2としてRYLAといえば今井鎮雄元RI理事が「RYLA再考～世界とロータリーの未来への変化の中で」のテーマで約40分話をされました。地域の青少年を発掘し、RYLAセミナーを経験後RYLArianとして社会の指導者としてビジネスで成功し、ロータリーに入会するというあるべき図式の元、減少の一途をたどる日本のロータリークラブの現状を救うのは新世代・青少年であろうと講演されました。

午後からは第2750地区のRYLArian2名の体験談を聞き、それぞれRYLAのプログラムが彼らに身につく、その後多少なりとも良い影響を与えていることを感じました。

次にパネルディスカッションが行われ、実際にRYLAを実施してきた3地区の例が、紹介されました。

興味深かったのは、第2730地区鹿児島島のRYLAで、例年一泊二日で行っていたものを2010年4月の毎週水曜日の夜、4回連続で実施されたRYLAで「仲間作りのリクレーション、グループワークと指導力」「良い指導者とは、冠婚葬祭とリーダーシップ」「事業企画と運営、青年期の危機管理」と3回開催し、最終回は「テーブルマナー」としてホテルのフルコースを味わい、最終的に「城西ローターアクトクラブ」を6月に12名のメンバーで発足させたという、偉業を行った第2730地区の手法には感心しました。毎週水曜日の夜出席するという条件とアクトクラブをさせる成果には、正直驚きました。現在も12名のメンバーで活動しているとのことでした。

他第2840地区ではホストクラブとコ・ホストクラブ作り、約一年の準備期間と300万円の予算をかけ約140人(新世代のみ)の登録者を集めた1泊2日のキャンプを実施した例、第2590地区では大震災を受け、実際にバスで宮城県に視察を兼ね現地と翌日地元横浜に戻り2泊3日のRYLAを開催、宮城県の横浜のインターアクトを連携させて今後の復興支援を行う「自立までのコミュニケーション支援」を行う事を導きだした内容でした。

その後質疑応答があり、今井鎮雄大会委員長の点鐘で終了しました。

当地区でも次年度7年ぶりにRYLAを開催する予定で準備を始めました。詳細が決まりましたら、各クラブにお知らせしますので、RYLAに参加できる、新世代の発掘をお願いいたします。



IM  
報告

## 第9グループIM開催にあたり

第2510地区 第9グループ

ガバナー補佐

内池 真人

(室蘭北RC)

2月4日(土)室蘭サンルートホテルに於いて、第9グループ会員123名の参加を得て開催できたことに感謝し厚くお礼を申し上げます。来賓といたしまして、熊澤隆樹ガバナー、遠藤秀雄パストガバナー、柴田達朗地区幹事をお迎えし、また米山奨学生姜岩さんにも参加していただきました。

IMテーマ「自己を省みて 行動を起こそう！」～地区目標に向かって～に決定しました。今年度のIMの役割を全員参加の研修の場にしてほしいという熊澤ガバナーより強い要望がありました。早速IM実行委員会において主旨を話しましたところ、地区目標は各クラブ共通の目標であり、会員全員の目標でもあるので地区目標についてのフォーラムを行うことに全員一致で決まりました。



- ① ロータリーの活動を担う新しい会員を増やすこと。
- ② 全会員参加型の新しい奉仕活動を年度内に一つ行うこと。
- ③ まわりの人にロータリーを巧みに語り伝えること。

6クラブの会長さんに壇上に上がってもらい、地区目標の経過報告をしてもらいました。各会長の真剣な発表が参加会員全員の引き締めまりにつながり、良い勉強会になったと思います。また、スライドにて各クラブの半期活動を各幹事さんから発表してもらいました。この勉強会は丁度上期が終わり下期の始まりの時期であり、あと5か月残っております。各クラブにおいて今回のIMが地区目標の未達成項目を達成するために少しでも役立つことができれば幸いです。熊澤ガバナーより次のように講評をいただきました。

- 洞爺湖ロータリークラブの奉仕活動(ツデーマーチ)に他クラブが協力して第9グループ合同奉仕活動にしたことは、とても意義のあることで、これからの新たな奉仕活動として注目されると思う。
- 室蘭北クラブの全会員参加の奉仕活動(交通安全啓蒙活動)で病欠1名以外全員が参加したことはとても素晴らしいことです。会長の発表から、1-活動を4日間に分けたこと、2-事前に参加日の希望を聞いたこと、3-参加日前に再確認したこと、と全員参加奉仕活動に熱心に取り組んだ結果の表れだと思う。
- 他クラブの活動(スライド)を知るということは、良い意味で刺激になり、これからの奉仕活動にプラスになりクラブの活性化につながる。

総評として、本日のIMは全員参加の研修の場にふさわしい充実した内容の濃いIMとの好評を得ました。また遠藤パストガバナーからは、久々の勉強のIMでありとてもよかったですとのお言葉をいただきました。関係者の皆さんに心からお礼を申し上げ、以上報告とさせていただきます。





IM  
報告

## 第12グループ・インターシティ・ミーティング報告

テーマ：ロータリーの心 東日本大震災へのおもい

第2510地区 第12グループ

ガバナー補佐 **岡田 秀樹**

(苫小牧北RC)

第12グループ（苫小牧RC、白老RC、苫小牧東RC、苫小牧北RC）のインターシティ・ミーティングが、平成24年2月5日（日）に苫小牧ホテルグランドニュー王子で開催されました。

会議には熊澤隆樹ガバナーはじめ、遠藤友紀雄地区幹事、RI第2530地区災害対策本部安藤元二氏（郡山西RC）、出村知佳子地区ロータリー財団委員に出席いただきました。

会議では、「ロータリーの心」（東日本大震災へのおもい）とのテーマのもと、12グループ各クラブ代表者から、岩手県山田町での医療支援活動（苫小牧RC）、姉妹クラブ（仙山西RC）との協同支援活動（白老RC）、例会での震災被害に関する情報提供と募金への協力（苫小牧東RC）、歯科医療支援活動と友好クラブ（石巻RC）への支援活動（苫小牧北RC）などの報告、安藤元二氏からは災害支援会議、福島の実情などについての報告、出村委員からは第2510地区の支援活動、心の支援、子供達への教育支援の立場から今後の「福島キッズキャンプIN北海道」などの計画について報告がありました。



報告後、苫小牧北RC会員の小学6年生のお孫さんである安部夏鈴<sup>かりん</sup>さんの「東日本大震災を経験して」との作文が朗読されました。

震災後間もなく、夏鈴さんが安否の心配されていた石巻市のお婆ちゃんの家に行った時の体験を作文にしたものですが、夏鈴さんの心に響いたのは「（お婆ちゃんの家）家のそばの川ではサルベージ船が川から車を引き上げていた。ドロまみれになった一台の車の中に、赤い汚れたランドセルが見えた。そのランドセルの持ち主の女の子は、今ごろどうしているのだろう。私は亡くなった人達のために、手を合わせた。」というものでした。

IMの報告を通して、改めて震災による被害のすさまじさ、深刻さを感じるとともに、今後の継続的な支援の必要性を感じた会議でした。

熊澤ガバナーは、講評の中で、IMのテーマが時宜にかなったものであり、会員一人一人に今後の協力を呼びかけられました。

今回のIMによって、12グループの皆様がロータリーの震災支援について、更には「ロータリーの心」について考えていただく機会になりましたら幸いです。





## 新会員のご紹介 (敬称略)



札幌あけぼのRC  
**魚谷 直人**  
12月9日入会  
内装工事業



小樽RC  
**野口 禮二**  
12月13日入会  
不動産管理



岩内RC  
**井筒 徹**  
1月5日入会  
歯科医師



浦河RC  
**工藤 一康**  
1月10日入会  
税理士



浦河RC  
**伊原 鎮**  
1月17日入会  
幼稚園



赤平RC  
**池内 厚志**  
1月17日入会  
食品雑貨小売



恵庭RC  
**松本 健**  
1月18日入会  
信用金庫



岩見沢RC  
**浅野 剛**  
1月19日入会  
化学肥料販売



岩見沢RC  
**平野 賢一**  
1月26日入会  
普通銀行



千歳セントラルRC  
**福島 力**  
2月2日入会  
結婚式場



岩見沢RC  
**大屋 均**  
2月9日入会  
電気工事



岩見沢RC  
**斉藤 実**  
2月16日入会  
車輛販売

## 訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに  
心からご冥福をお祈り致します



### 高田 達 会員 (静内RC)

2011年11月27日逝去(享年70歳)

【ロータリー歴】

1981年9月 入会  
2006~07年度 会長

【表彰関係】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
米山功労者



### 寺坂伊佐夫 会員 (函館RC)

2011年12月24日逝去(享年65歳)

【ロータリー歴】

2001年12月6日 入会  
副SAA、国際奉仕副委員長、会員増強  
副委員長など歴任



### 小坂昭男 会員 (岩見沢RC)

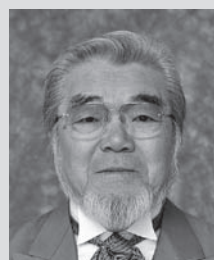
2012年1月23日逝去(享年82歳)

【ロータリー歴】

1984年10月 入会  
1986~87年度 親睦活動委員長  
1987~88年度 広報委員長  
1988~89年度 プログラム委員長  
1989~90年度 社会奉仕委員長  
1991~92年度 幹事  
1992~93年度 親睦活動委員長  
1993~94年度 副会長  
1994~95年度 会長エレクト  
1995~96年度 会長  
1996~97年度 R・情報委員長  
1998~99年度 会員増強委員長  
2001~02年度 米山奨学委員長  
2004~05年度 国際奉仕委員長  
2007~08年度 SAA

【表彰関係】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2)  
米山功労者マルチプル(4)  
25年間100%出席



### 前田 紘陽 会員 (浦河RC)

2012年2月5日逝去(享年71歳)

【ロータリー歴】

1979年7月17日 入会  
1988~89年度 会長

【表彰関係】

ポール・ハリス・フェロー





## 2011-12年度各賞の申請について

### ▶2011-12年度会長賞

2012年4月6日までにクラブが、受賞要件を満たしていることを示す結果を地区ガバナーに提出し、2012年4月10日までに地区ガバナーがクラブと地区の選考結果をRIに提出します。

2011-12年度会長賞は、会員増強とロータリー財団への貢献に関する功績を称えるものです。資格条件を満たしたクラブには、表彰状が贈られ、上位15位の地区とクラブは、2012年の国際大会（タイ、バンコク）の壇上で表彰されます。

### ▶2011-12年度チェンジメーカー賞

2012年3月15日までにクラブが地区ガバナーに記入済の書式を提出し、2012年3月22日までに地区ガバナーが「会員アクセス」から受賞資格のあるクラブ名を報告します。

「チェンジメーカー賞」は、奉仕部門における活動を通じて、2011-12年度に非常に大きな影響をもたらしたロータリー・クラブを表彰するものです。クラブは、地域社会と世界において多大な変化をもたらすという目標の下、各奉仕部門において、取り組みがいのある数々の活動に取りかかるよう奨励されています。2011-12年度チェンジメーカー賞は、5つの奉仕部門における業績を称えるもので、資格条件を満たしたクラブには表彰状が贈られます。さらに、ゾーンレベルおよび世界レベルの受賞クラブが、3つの規模（小規模、中規模、大規模）のクラブからそれぞれ選ばれ、世界レベルで受賞したクラブは、2012年国際大会（タイ、バンコク）の壇上にて表彰されます。

### ▶会員増強推進計画の表彰

クラブの方策、推進活動、プログラムの詳細な説明を地区ガバナーに4月15日までに提出してください。説明には次の点を考慮に入れてください。

- 方策あるいは推進活動の目的は何か、会員増強に対しこれがどのように新しく独創的なアプローチであったか。
- 会員増強に関する当初の課題はどのようなものだったか、課題に対して取った方策あるいは推進活動がどのように積極的なアプローチであったか。
- 会員増強に影響を与えた地域的要因、問題、傾向はどのようなものだったか、これらの問題に対応するために用いられた方策はどのように画期的であったか422-JA-(1108)。
- プログラムや推進活動の実施において、どのような手順や手続に従ったか。
- 誰が関与したか、何が成し遂げられたか。
- 会員増強に対するプログラムの長期的な成果にはどのようなものが期待できるか。

地区レベルで設けられている本賞は、会員増強の3つの基本要素、すなわち会員維持、会員候補者の勧誘、新ロータリー・クラブ結成のための画期的な計画や方策を立案し、実施したクラブを表彰するものです。

各賞の詳細については、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.rotary.org/ja/Members/GeneralInformation/Awards/Pages/ridefault.aspx>



◆ 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます ◆

◆ 米山功労者 ◆

札幌RC 廣川 雄一 会員(1回) 1月31日

◆ 米山功労クラブ ◆

札幌RC 29回 1月31日

◆ ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます ◆

◆ マルチプル・ポール・ハリス・フェロー ◆

美唄RC 高橋 誠 会員(1回) 1月12日  
江別RC 津田 政勝 会員(2回) 1月18日  
江別西RC 森木 潤一 会員(1回) 1月25日  
札幌手稲RC 山地 庸夫 会員(2回) 1月12日  
函館RC 勝木 俊彰 会員(3回) 12月16日  
函館RC 室田 浩三 会員(1回) 12月20日  
森RC 梅本 勲 会員(1回) 1月13日  
森RC 長瀬 賢 会員(1回) 1月13日  
森RC 松浦 實 会員(1回) 1月13日

森RC 岩本豊太郎 会員(1回) 1月13日  
森RC 三浦 祐伸 会員(1回) 1月13日  
七飯RC 宮村 拓郎 会員(1回) 12月30日  
函館セントラルRC 浅野 翼 会員(1回) 12月20日  
函館セントラルRC 佐々木秀治 会員(1回) 12月20日

◆ ポール・ハリス・フェロー ◆

札幌RC 廣川 雄一 会員 1月31日  
函館RC 大槻 継也 会員 12月16日  
七飯RC 工藤 悟 会員 12月30日

文庫  
通信



(293号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新着の文献から

- ◎ 「例会出席して、何を学ぶの？」 亀井義弘 2011 4p (我が心の原点、ロータリー)
- ◎ 「ロータリークラブの弱体化と対応策」 関口宗男 他編 2011 2p (ロータリーの軌跡と展望及びロータリーの基本についての解説)
- ◎ 「SAAについて その1~4」 深川純一 2011 4p (純ちゃんのコーナー Part X)
- ◎ 「シェルドン登場」 田中 毅 2011 4p (シェルドンの森 ロータリーの真実を求めて)
- ◎ 「ロータリーの危機」 田中 毅 2011 13p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎ 「ロータリー活動と意識について-ロータリー歴の長い会員と短い会員」 丹羽司一 2011 13p (ロータリーに関する意識と活動について-ロータリーに未来を考える)
- ◎ 「ロータリーの理想」 ビチャイ・ラタクル 2011 10p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎ 「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」 武笠和夫 2011 2p (社会教育No.783)

[上記申込先: ロータリー文庫]

- ◎ 「職業奉仕の源 社是・社訓他」 宝塚中RC 2011 17p

[申込先: 宝塚中RC FAX (0797) 83-1110]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



## 地区カレンダー（3月・4月）

3月 識字率向上月間		4月 ロータリー雑誌月間	
1 (木)		1 (日)	
2 (金)		2 (月)	
3 (土)	第8グループIM (えりも) 2012年3月終了米山奨学生歓送会 (札幌)	3 (火)	
4 (日)	新世代委員会 (札幌)	4 (水)	
5 (月)		5 (木)	
6 (火)		6 (金)	
7 (水)		7 (土)	
8 (木)		8 (日)	2012-13年度地区協議会 (新ひだか)
9 (金)		9 (月)	
10 (土)	2012-13年度会長エレクト研修セミナー (新ひだか)	10 (火)	
11 (日)	2012-13年度会長エレクト研修セミナー (新ひだか) 2012-13年度財団・米山セミナー (新ひだか)	11 (水)	
12 (月)		12 (木)	
13 (火)		13 (金)	
14 (水)		14 (土)	
15 (木)		15 (日)	
16 (金)		16 (月)	
17 (土)	江別RC創立50周年記念式典 (江別) 青少年交換学生春季スキーキャンプ (ニセコ)	17 (火)	
18 (日)	第7グループIM (由仁)	18 (水)	
19 (月)		19 (木)	札幌西北RC創立35周年記念式典予定
20 (火)	春分の日 ロータリー・コーディネーター・セミナー (東京)	20 (金)	~21 (土) 韓国第3700地区大会 (大邱)
21 (水)		21 (土)	
22 (木)		22 (日)	江別西RC創立20周年記念式典 (江別)
23 (金)		23 (月)	
24 (土)	室蘭北RC創立40周年記念式典 (室蘭)	24 (火)	
25 (日)		25 (水)	
26 (月)		26 (木)	
27 (火)		27 (金)	
28 (水)		28 (土)	~29 (日) 第17回ロータリー-日本青少年交換研究会 (札幌)
29 (木)		29 (日)	昭和の日
30 (金)		30 (月)	振替休日
31 (土)	第4・第5グループ合同IM (札幌)		

2012年3月のロータリーレート 1ドル78円





## 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2011.7.1	2012.1.31	増減	内女性	
1	深川	4	33	37	4	2	87.00
	羽幌	3	50	48	-2	2	81.56
	妹背牛	3	9	10	1	0	90.00
	留萌	4	44	43	-1	3	72.43
	小計		136	138	2	7	82.75
2	赤平	4	29	28	-1	0	77.80
	芦別	4	37	38	1	1	81.76
	砂川	3	48	50	2	0	95.71
	滝川	3	84	86	2	2	75.00
	小計		198	202	4	3	82.57
3	美唄	4	34	35	1	0	84.16
	江別	4	29	35	6	2	80.71
	江別西	4	25	27	2	3	90.70
	岩見沢	3	81	81	0	0	91.22
	岩見沢東	4	23	22	-1	4	85.25
	栗沢	3	23	23	0	1	93.80
	栗山	3	27	26	-1	2	94.67
	当別	4	28	27	-1	0	86.05
	小計		270	276	6	12	88.32
4	札幌	3	115	128	13	0	97.03
	札幌あけぼの	4	15	16	1	2	100.00
	札幌はまなす	4	18	18	0	3	83.33
	札幌北	3	39	37	-2	4	87.72
	札幌モーニング	4	47	47	0	0	68.49
	札幌西	4	53	53	0	5	89.49
	札幌西北	4	31	32	1	4	93.90
	札幌手稲	4	35	33	-2	2	90.15
	小計		353	364	11	20	88.76
5	札幌東	4	110	115	5	0	98.60
	札幌清田	4	19	19	0	5	95.58
	札幌幌南	4	51	51	0	0	100.00
	札幌真駒内	3	26	26	0	3	100.00
	札幌南	3	77	81	4	0	98.69
	札幌大通公園	4	8	10	2	1	90.00
	札幌セントラル	4	9	8	-1	4	80.00
	新札幌	3	28	27	-1	3	95.45
小計		328	337	9	16	94.79	
6	岩内	3	20	20	0	0	92.59
	倶知安	3	39	38	-1	6	72.00
	小樽	4	66	70	4	0	90.49
	小樽南	4	72	73	1	2	89.84
	小樽銭函	3	20	19	-1	2	80.70
	蘭越	3	8	10	2	0	93.30
	余市	3	42	43	1	4	82.90
	小計		267	273	6	14	85.97

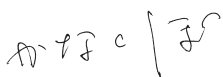
1月出席率・  
会員増減数

クラブ数	72クラブ
期首会員数	2,573人
当月末会員数(女性)	2,647人(117人)
増加会員数	74人
当月平均出席率	85.52%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2011.7.1	2012.1.31	増減	内女性	
7	千歳	3	54	55	1	3	78.70
	千歳セントラル	3	32	35	3	2	69.60
	恵庭	3	47	44	-3	3	87.11
	北広島	4	12	15	3	0	85.94
	長沼	3	20	19	-1	3	84.20
	由仁	3	9	9	0	1	88.89
	小計		174	177	3	12	82.41
8	えりも	4	22	26	4	1	94.23
	三石	3	15	15	0	2	77.70
	様似	5	23	23	0	1	73.30
	静内	3	69	74	5	0	79.55
	浦河	4	34	38	4	2	88.44
	小計		163	176	13	6	82.64
	9	伊達	3	56	56	0	0
室蘭		3	37	40	3	0	67.52
室蘭東		3	37	39	2	0	82.90
室蘭北		3	38	36	-2	2	100.00
登別		3	32	32	0	1	87.50
洞爺湖		4	10	10	0	0	85.00
小計			210	213	3	3	84.18
10	函館	4	77	83	6	0	78.45
	函館亀田	2	39	38	-1	4	93.21
	森	4	40	44	4	0	73.50
	七飯	4	14	14	0	0	76.78
	長万部	2	7	8	1	0	75.00
	函館セントラル	4	29	30	1	2	72.50
小計		206	217	11	6	78.24	
11	江差	4	11	10	-1	1	85.00
	函館五稜郭	4	43	41	-2	0	94.89
	函館東	4	45	44	-1	6	82.58
	函館北	4	23	24	1	0	96.88
	北斗	4	17	15	-2	0	70.00
	松前	4	3	3	0	0	66.00
	小計		142	137	-5	7	82.56
12	白老	4	28	29	1	2	80.80
	苫小牧	3	48	53	5	2	72.19
	苫小牧東	3	26	28	2	4	90.48
	苫小牧北	4	24	27	3	3	98.08
	小計		126	137	11	11	85.39
合計		2,573	2,647	74	117	85.52	

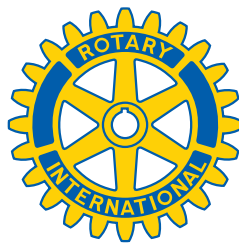
今年は随分雪が降りました。岩見沢や倶知安ほどではありませんが、小樽も相当なもの  
です。でも3月の声を聞くと、日差しも柔らかくなり、春がそこまでやって来たなあと感じ  
るようになります。

3月は多くの若者が次のステップへと向う時期でもありますが、残念ながら小樽の人口  
はまた少し減るでしょう。先日、小樽の屋台村で7年前に八王子市から小樽へ移住してき  
た(定年退職後)と言うご夫婦にお会いし、うれしくなりました。小樽運河も雪解けが進  
み、春を待ちわびています。

小樽ロータリークラブ会長 金久保 兵士郎 作 



表紙絵：私の残したい小樽シリーズ  
「春近し小樽運河」 HEISHIRO.K



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510**

**2011—2012**

**GOVERNOR**

**TAKAKI KUMAZAWA**